

コンヴァージョンによる図書館の設置



津野町立図書館かわうそ館（高知県高岡郡津野町）

基本データ（数値はH25年現在）

住所	高岡郡津野町姫野々433番地2
電話番号	0889-55-3001
人口（図書館が所在する市町村）	6,393人
職員数（うち有資格者数）	3人（0人）
蔵書数	14,000冊
登録者数	810人
年間貸出冊数（H24）	3,335冊

目的・趣旨

図書館整備に当たり、旧保育園をコンヴァージョンし、町立図書館とすることで、公共施設の有効利用、公益機能の再編・集約化を図る。

取組概要

認定こども園の設置に伴い、使用されなくなった旧保育園をコンヴァージョンし、町立図書館とした。

コンヴァージョンではあるが、新たな図書館設置であるので、住民、専門家、県立図書館の支援を有効に組み合わせ、準備を行った。

延床面積 1F 748㎡ 2F 266㎡

敷地面積 2,380㎡

平成26年4月には、津野町役場西庁舎の空きスペースをコンヴァージョンし、町立図書館「虎太郎館」を開館予定



特徴

1 コンヴァージョンは、元の施設のあり方に制約されて、図書館機能が十分に果たせないことが少なくない。しかし、財政力の極めて弱い地方公共団体にとっては、有効な補助金・交付金等がなければ新規に建設することは困難である。

その中で、津野町の事例は、旧施設の良いところは大きく変更せず、一方で図書館機能を確保するための変更は大きく行っており、成功例の部類と考えてよい。

2 図書館設置に当たって、住民を交えた委員会を設置するだけでなく、実績のある他市の元図書館長（司書）をアドバイザーに入れ、書架の形状・配置、選書など、きめ細やかな相談を行っている。また、県立図書館の支援も活用し、日本図書館協会の「公立図書館の任務と目標」を照準に入れ、2館で1千万円以上の資料費を確保し、計画的に5万冊以上整備することとしている。

～その他の特徴～

- ・本棚・床・内装は、高知県産材を使用
- ・3世代交流施設を併設



1F 図書室



2F 親子読書室

取組の成果と今後について

1 図書館開館により、1日平均の利用者数及び貸出冊数が5倍に伸びた。

また、幼児、小学生の利用者も増えた。（近隣市町の登録者が全体の約3割）

2 あったかふれあいセンター、学校等への移動図書の実施、館内イベント・展示などを開催し、利用者とともに成長する「みんなの図書館」づくりを進めて行く。